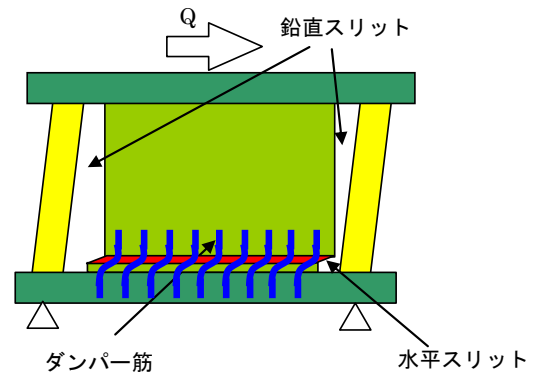


【技術の名称】 RC 造壁型ダンパー SWA	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 05-06 号 性能証明発効日：2005 年 7 月 5 日
	【取得者】 株式会社大林組

【技術の概要】

本技術は、RC 造壁板の水平スリットを横断して設けられたダンパー筋のダボ抵抗と周辺骨組の梁端部によって地震時エネルギーを吸収する RC 造壁型ダンパー SWA に関するものである。壁板の両側柱際には全長にわたりスリットが設けられ、その間では、力の伝導が行われない構造となっている。水平スリットは、壁板水平断面の全長に沿う全域水平スリットおよび 2 本のダンパー筋の間に配置する部分水平スリットで構成することとし、ダンパー筋については、所定のダボ抵抗の確保のために種々の配筋上の規定を定めている。また、周辺骨組の上下梁は、それぞれ所定の履歴エネルギー吸収能力の確保のために、両材端曲げ降伏後の塑性回転能力を有するように設計することとしている。



SWAの概念

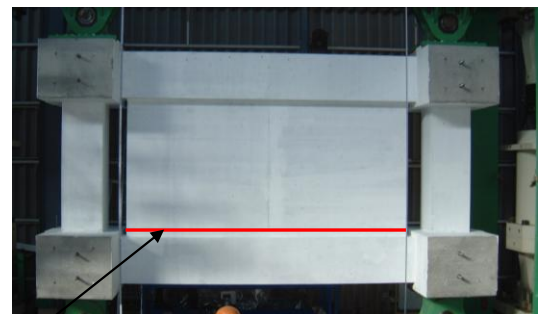
【技術開発の趣旨】

本技術は、RC 造壁板内に配置したダンパー筋による履歴エネルギー吸収能力を活用し、耐震性能のみならず設計の自由度の向上と施工コストの縮減を意図して開発したものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者提案の RC 造壁型ダンパー SWA は、申込者提出の RC 造壁型ダンパー SWA 設計指針で提示している復元力特性および履歴エネルギー吸収能力を有し、短期許容耐力時に相当する水平変位を繰り返し経験しても、各部位ともに過大なひび割れを残留させる等の修復性を著しく阻害する損傷を生じず、設計指針で提示している終局耐力および耐力壁の構造種別が WA 相当の塑性変形能力を有すると判断される。



水平スリット

構造性能実証試験体

* 水平スリット幅：10～15mm

【本技術の問合せ先】

株式会社大林組 担当者：津田 和明
〒204-8558 東京都清瀬市下清戸 4-640

E-mail：tsuda.kazuaki@obayashi.co.jp
TEL：0424-95-1281 FAX：0424-95-0904